

下新川海岸老朽化及び侵食対策 下飯野緩傾斜堤、古黒部直立堤の改良及び八幡副離岸堤の整備

事業の概要

下新川海岸は、黒部川の扇端部に位置する全国でも希に見る侵食の激しい海岸です。このため、昭和35年より直轄施工で、直立堤、消波工、副堤、離岸堤、副離岸堤、緩傾斜堤及び人工リーフ等を整備し、侵食防止、冬期風浪等の被害軽減を図ってきました。

しかし、近年、直立堤の老朽化に伴い亀裂等が発生し、直立堤の倒壊等の被害の拡大が予想されることから、補正予算の投入により、老朽化した直立堤を、入善町下飯野地区では緩傾斜堤に、入善町古黒部地区では直立堤に改良し、被害を未然に防止します。

更に、冬期風浪等により、越波被害や侵食の著しい入善町八幡地区において、補正予算（ゼロ国）の投入により、波浪を軽減し、海岸侵食を防止するための副離岸堤を設置します。



古黒部直立堤(老朽化対策)



下飯野緩傾斜堤(老朽化対策)



八幡副離岸堤(侵食対策)